



区職員から「地ケア」を学ぶ生田小の3年生

安心して暮らせるまちを目指して

「地ケア」を学ぼう！

全国で高齢化が進行する中、川崎市では、2050年に65歳以上の高齢者の人口が2020年の約1.5倍に増えると言われている。介護や医療を必要とする人が増えると考えられていますが、国は高齢者が住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らし続けることができる仕組みである「地域包括ケアシステム」を作ることを目指しています。

「地ケア」とは「地域包括ケアシステム」を略した言葉です。川崎市では高齢者だけでなく、年代や性別、障害のあるなしに関わらずすべての人を対象として、みんなが支え合って生活できる「地ケア」を作ろうとしているんです。

「地ケア」を進めるために大切だと言われている「4つの助（自助・互助・共助・公助）」を学びました。

例えば、給食をしっかりと食べて自分自身が健康でいることは、「地ケア」における自助と同じ。教室や廊下の掃除、委員会活動など、みんなが協力して行うことは互助と同じです。どちらも、同じく「地ケア」について学びを深めましょう。

みなさんは「地ケア」という言葉を聞いたことがありますか？「地ケア」とは高齢化が進むこれからの時代に、地域の一員として小学生のみなさんにも知っておいてほしい考え方です。安心して暮らし続けられるまちを目指して学んでみましょう。



川崎市の地ケアキャラクター

あいちゃん

地域包括ケアシステムを略して「地ケア」

みんなに「地ケア」を広めていくことが生きがいです。私の名前には、愛や出会い、支え合いなど、さまざまな「あい」が込められているよ！

学校でやっていることに置き換えてみると??

学校での「自助」って??

- + 手洗い・うがい
- + 給食をしっかりと食べる

⇒健康でいることも「地ケア」!

学校での「互助」って??

- + 教室・廊下の掃除
- + 委員会活動

⇒協力することも「地ケア」!

読者プレゼント

応募締切 2024年10月23日(水)

※応募受付、商品発送は多摩区役所地域ケア推進課が行います。

地ケアクイズに答えて正解すると、抽選でプレゼントがもらえるよ！

クイズ①

「地ケア」を進めるために大切な4つの「助」のうち、同じまちに住む周りの人と協力して行うことは?

- △ 公助
- ▽ 自助
- 互助
- ◇ 共助

クイズ②

認知症の人が安心して暮らすことができるように、認知症の人に対して、みなさんができることは?

- △ いっしょに仲良くする
- ▽ 知らんぷりする
- できないことを怒る
- ◇ かわさき宙と緑の科学館

クイズ③

パサージュ・たまの名前の由来となったガラス屋根が特徴的な多摩区内にある施設は?

- △ かわさき宙と緑の科学館
- ▽ 多摩区役所1階アトリウム
- Anker フロントアンプ
- ◇ 生田小

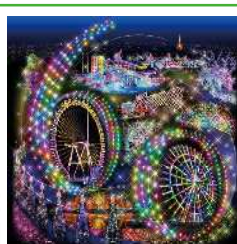


家族や友達と話し合いながら、△・▽・□の中から1つ答えを考えてみよう!



よみうりランド ジュエルミネーションご招待券

開園60周年を迎えた遊園地・よみうりランドで、15回目を数える冬の風物詩「ジュエルミネーション」。宝石色のイルミネーションと東京の大夜景が一度に楽しめる。開催は、2025年4月6日まで。



オペシアターこんにゃく座 オリジナルノート

多摩区宿河原を拠点とし、新しい日本オペラの創造と上演活動をしている「オペシアターこんにゃく座」。全国の劇場や小学校の芸術鑑賞で上演中のオペラ「タンゴ〜まほうをかけた舌〜」のオリジナルノートです。



市制100周年記念デザイントートバッグ

2024年、川崎市は市制100周年。表面に市制100周年のビジュアルデザインを印刷した、日常的に使用できるキャンパス生地のトートバッグ（インナーポケット付き、幅46cm×高さ39cm×マチ幅13cm）です。





身近にある「地ケア」

どんな取り組みがあるのかな？

「地ケア」の取り組みはみなさんの身近な生活の中にもあります。例えば、登下校の見守りパトロールもその一つ。みなさんが学校に行くときに、横断歩道などで見守ってくれている人がいますよね？それは、地域の方や民生委員児童委員による「見守りパトロール」や「あいさつ運動」です。子どもたちが安心して登校できるよう、暑い日や雨の日も見守ってくれています。

民生委員児童委員は、地域の身近な相談役・つなぎ役としてボランティアで活動しています。見守りパトロール以外にも、子育ての悩みを抱えないよう、仲間をつくる場である子育てサロンを開催するなど、いろいろな活動で私たちを支えてくれています。

多摩区民生委員児童委員協議会の木澤静雄会長は「子どもたちの元気なあいさつは、活動する私たちの活力の源になっています。登下校で困ったことがあったら、ぜひ声をかけてください」と笑顔を見せました。



登下校の見守りパトロール



多摩地区少年消防クラブの結成式に臨んだ児童

地域防災の力に

小学生が1年間にわたり、防火防災について学ぶ多摩地区少年消防クラブも「地ケア」の取り組みと言えます。火災だけでなく、地震や台風などの災害が起こったときに備え、将来地域で助け合えるように協力することも「地ケア」の第一歩。放水体験や、地域の防災訓練などにも参加して、正しい知識を身に付けています。今年6月に行われた結成式で、メンバーの児童は「地域防災の力になる」と宣言しました。

障害者理解の第一歩に

パサージュ・たまの取り組み

パサージュ・たまは、障害のある人が作った手芸作品やお菓子などを展示・販売する取り組みです。「障害について少しでも多くの人に知ってもらいたい」という思いで2008年から始まりました。

パサージュはフランス語で「ガラス屋根の遊歩道」の意味。会場である多摩区役所1階、アトリウム（中庭）のガラス張りなので、この名前になりました。

会場には、アイロンビーズなどの作品や焼菓子などの食品が並んでいます。販売員として参加した障害者の一人は「自分の作品をお客さんが喜んで買ってくれるのがうれしい」と話していました。

原則月2回（8月を除く）開催。平日の午前10時から午後2時に開催。



認知症を正しく知ろう

小学校でサポーター養成

認知症という病気を知っていますか？認知症は、同じことを何回も聞いたたり、ご飯を食べたことを忘れたりする高齢者に多い脳の病気です。2025年には、65歳以上の5人に1人が認知症になると言われています。

多摩区では多くの小学校で認知症サポーター養成講座が行われています。「認知症サポーター」とは、認知症の人にも安心して暮らせるように、病気のことを正しく知り、それ



べたことを忘れたりする高齢者に多い脳の病気です。2025年には、65歳以上の5人に1人が認知症になると言われています。

多摩区では多くの小学校で認知症サポーター養成講座が行われています。「認知症サポーター」とは、認知症の人にも安心して暮らせるように、病気のことを正しく知り、それ

それができる手助けをする人のことです。講座では、病気のことや、どのように接し、声をかければよいかを学びます。

これまで学んできた子どもたちの感想には「認知症の人に大丈夫だよと優しく声をかけたい」「穏やかにゆくりと笑顔で話したい」と、認知症の人を思いやる言葉が寄せられています。

みんなも一緒に頑張って、認知症になっても誰もが安心して暮らせるまちにしていきたいですね。

パサージュ・たまの紹介動画はこちら

展示・販売されている作品

地域とつながる第一歩

まちなかイベント情報！

出張!! パサージュ・たま

①10月8日(火) ②11月7日(木)

午前10時30分～午後2時30分

場所: JR南武線登戸駅改札前

パサージュ・たまが、区役所を飛び出して登戸駅改札前で開催! 普段区役所を訪れない人もぜひお立ち寄り下さい。

(問) 区役所地域ケア推進課 ☎044-935-3228

子ども食堂 大人も子どもも参加できます!

「保護者の方々が月に1回でも夕食を作らずに済む日があれば」という思いから始まった子ども食堂。多摩SDCが開設支援を行った子ども食堂は区内のさまざまな場所に広がり、地域の居場所となっています。

日時 ①10月17日(木) ②10月18日(金) ③10月21日(月) ④11月9日(土)

①②③午後5時～7時 ④午後3時～5時30分

場所: ①多摩SDC事務所(区役所1階) ②ECO WASH CAFE 中野島(登戸575-1 イナダビレッジ) ③欧州食堂 城(菅北浦3-1-18) ④管カフェ OLIVE(菅北浦3-1-15-101) 「結」ケアセンターたまがわ(中野島1655-1) ⑤デイサービス日昇(中野島6-6-8) ⑥デイサービス喜多(中野島1-11-39) ⑦地域食堂「わ」(菅北浦1-4-21-101 アメニティ北浦)

費用: ①子ども100円、大人250円 ②③100円 ④子ども100円、大人300円

(問) 多摩SDC ☎044-281-4422 (平日午前10時～午後4時) ⑤toiawase@tama-sdc.com

詳しくはInstagramで

復活! 登戸の渡し

10月26日(土) 午前10時～午後3時

※荒天時などは、27日(日)に縮小して実施

場所: ニヶ領せせらぎ館 (宿河原1-5-1) ほか

多摩川の渡し場の一つである「登戸の渡し」を市制100周年記念事業として復活させます。渡し船乗船体験のほか、食物販、工作、音楽ステージなど

詳しくはこちら

(問) 建設緑政局みどり・多摩川協働推進課 ☎044-200-2268

多摩区スポーツフェスタ

10月14日(月・祝) 午前9時30分～午後3時(観覧は午前10時から開始)

場所: ①Anker フロントウ生田 ②川崎市多摩スポーツセンター (2つの会場をつなぐシャトルバスを運行します)

スポーツの楽しさを体験し、体を動かすきっかけとなるイベントで、さまざまな種目を体験できます。

詳しくはこちら

(問) 区役所地域振興課 ☎044-935-3133